

FortiGate × NetAttest EPS スマートデバイスのビジネス利用を支える UTMセキュリティアプライアンス

スマートフォンの普及やネットワーク環境の拡充により、スマートデバイスをビジネスで活用したいというニーズは一段と高まっている。このニーズに応えるとともにシャドーITなどを防ぐには、高いセキュリティと利便性を兼ね備えたソリューションが求められる。



スマートデバイス活用のために

スマートフォンの爆発的な普及とともに、昨今はモバイル通信や無線LANなどのネットワーク関連インフラも日々整備が進んでいる。そのため、社内に加えて社外からもスマートデバイスで自社の基幹システムにアクセスしたいというニーズは高まっている。その一方で、スマートデバイスを活用し、新しいワークスタイルを可能にする環境を構築しなければ、「今後生き残っていくのは難しいかもしれない」という危機感もあるだろう。

しかし、外部から社内システムへアクセスするためには、利便性を確立するとともに高いレベルでの安全性確保が必須となる。そのため、「どのようなソリューションを用意すればいいのかわからな

い」と悩む企業は少なくない。

ネットワーク・セキュリティ関連機器の導入やサポートを担うシーティーシー・エスピー (CTCSP) は、米Fortinet社が開発したUTMセキュリティアプライアンス「FortiGate」と無線LANアクセスポイント「FortiAP」で、顧客のニーズにも柔軟に対応できるセキュアなソリューションを提供。さらに、多彩なネットワーク認証機能を持つソリトンシステムズの「NetAttest EPS」でより安全なネットワーク環境を提案する。

1台で総合的に安全対応

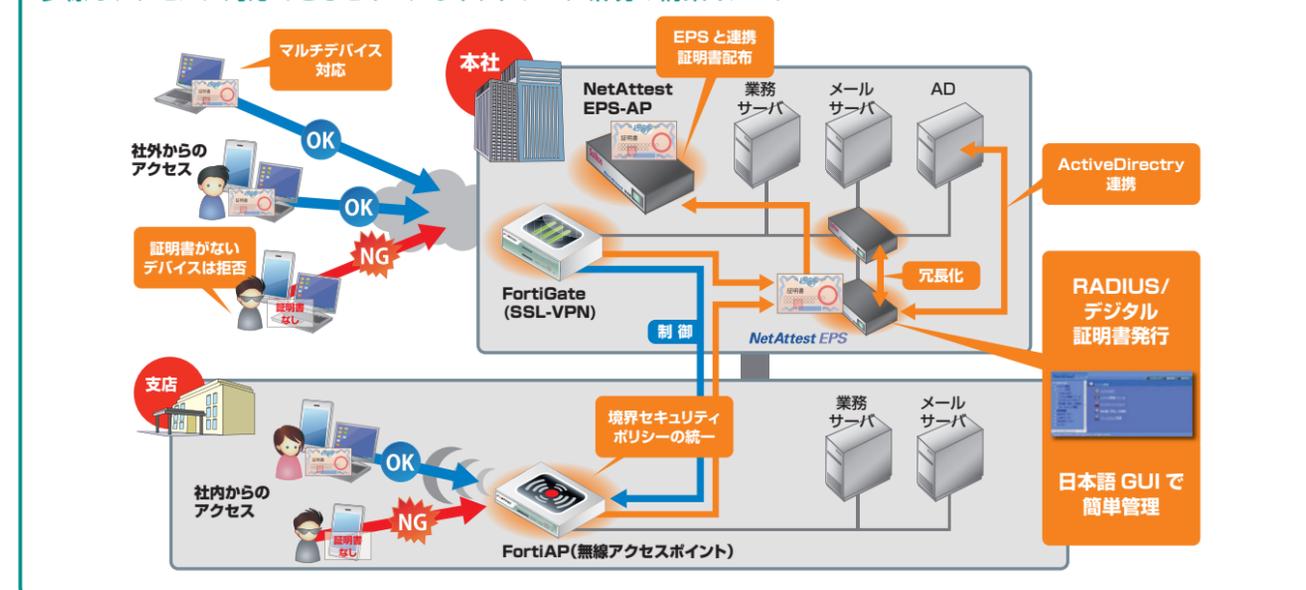
外部からもアクセスできる利便性の高い社内ネットワークを構築するということは、それだけ間口の大きい入口を持つネットワークを作ることになる。そのた

め、さまざまな脅威からシステムを守るためには、ファイアウォールのみならず複数のセキュリティ機能が必要不可欠だ。

FortiGateは、1台で9つのセキュリティ対策を実現するUTM (Unified Threat Management: 統合型セキュリティアプライアンス)。「ファイアウォール」「IPsec-VPN」「SSL-VPN」「アンチウイルス (アンチスパイウェア含む)」「P2Pファイル型交換ソフト対策」「インスタントメッセージ対策」「Webコンテンツフィルタリング」「IPS」「アンチスパム」を装備し、多面的なネットワーク攻撃から社内システムを守ってくれる。既存のファイアウォールからの置き換えで簡単に導入できるため、ネットワーク環境を大きく変える必要がない点も魅力のひとつだ。

さらに、独自に開発した専用ネットワークプロセッサ「FortiASIC」を搭載。最大で320Gbps*のファイアウォールスループットを実現するとともに、複数のセキュリティ機能を利用してもパフォーマンスが低下しないという高い性能を有する。また、日本語のGUIを採用することで操作性を高めているほか、日本語マニュアルなども豊富に取りそろえている。安全性や機能性に加えて利便性も兼ね備えることで、高いコストパフォーマンスを

多様なアクセスに対応できるセキュアなネットワーク環境の構築イメージ



UTMセキュリティアプライアンス「FortiGate-500D」



無線LANアクセスポイント「FAP-221C」

ネットワーク認証アプライアンス「NetAttest EPS」



*FortiGate-3810Dにおける1518/512バイトUDPパケットでの最大値

現しているわけだ。

なお、Fortinet社ではメール関連の幅広いセキュリティ機能を備えた「FortiMail」や、従来のシグネチャでは対応できない新種・未知の脅威に対する検知・防御機能を備えた「FortiSandbox」などのソリューションもラインナップ。ベースソリューションとなるFortiGateのオプションとしてさまざまな問題に対応できる。

無線LANの速度と安全を両立

FortiGateと連携し、快適かつ安全な無線LAN環境を提供するのが「FortiAP」だ。FortiAPは、最新の無線LAN規格「IEEE802.11ac」に対応し、複数のアンテナを組み合わせてデータの送受信を高速化する「MIMO」もサポートするアクセスポイント。最大で1.3Gbpsの無線セッションレートを実現する。

接続スピードやデータ転送のパフォーマンスに優れているのはもちろんだが、FortiGateとの組み合わせにより、セキュリティ機能を最大限にいかせる点も大きなポイントだ。FortiGateは、複数のFortiAPを統括的にコントロールできる管理機能を標準で装備しており、FortiAPに接続したユーザーはすべてFortiGate経由で基幹システムにアク

セスする。そのため、FortiAPからアクセスしたユーザーに何か問題があれば、FortiGateが確実に検知できる仕組みになっている。

例えば、接続した端末がウイルスに感染していた場合であれば、基幹システムへのアクセスを食い止めることも可能。FortiAPはFortiGateとの連携をスムーズに取ることで、アクセスの俊敏性を損なうことなくセキュリティ性能を両立している。

デバイス認証でより安全に

さらに、電子証明書によるデバイス認証を可能にするソリトンシステムズの「NetAttest EPS」を組みわせ、通常のIDとパスワードによる利用者認証にデバイス認証をプラスすれば、ネットワークのアクセスに関するセキュリティはより強固なものとなる。不正アクセスの防止はもちろんのこと、BYODの推進やシャドーITの抑制などにも大きな効果を発揮する

はずだ。

NetAttest EPSは、社内のネットワークにアクセスする端末を厳重に管理できるネットワーク認証アプライアンス。認証されていないスマートフォンやPCなどからの接続をネットワークの入口でブロックし、不正なアクセスを未然に防ぐ。また、認証済みの端末を紛失した場合でも、証明書を失効するだけで不正ユーザーによるアクセスを防止できる。

そのほか、リモートコントロールで遠隔PCを操作できる「Soliton Secure Desktop」やスマートデバイスにデータを残さない「Soliton SecureBrowser」などのソリューションも用意。これらもあわせて活用すれば、より利便性が高く安全にも優れた環境の構築が可能だ。

CTCSPでは両社製品の取り扱いに長けたエンジニアをそろえ、ユーザーのニーズに合ったソリューションを提案。製品やサービスのセレクトから導入までをトータルにサポートしていく。

【お問い合わせ先】
シーティーシー・エスピー株式会社
電話: 03-5712-8070
E-Mail: sp-admin@ctc-g.co.jp
URL: http://www.ctc-g.co.jp/~ctcsp/